高津支援学校 学校だより

令和８年２月 25 日発行

第 94 号

「興味と関心の底力」

立春を過ぎ、暦の上では「春」です。

節分のときは校内に赤鬼、青鬼がきて、教室を回っている姿がありました。給食は大豆の入ったご飯にイワシのつみれ汁…と季節感のあるメニューでした。

豆まきをしたり恵方巻を食べたりしたご家庭も多かったのではないでしょうか。

関東で生まれ育った私は、父の大きな声に続いてちょっと小さな声で「鬼は外、福は内」と窓から豆をまき、歳の分だけ豆を食べるのが節分でした。早く歳をとってたくさん豆が食べたかったです。（今では豆でお腹いっぱいになります）恵方巻はまったく縁のない風習でした。初めて聞いたときは、「なんだ？」と思っていた恵方巻ですが、今では関東でも普通のものになっています。メディアの発達やマーケティング活動も影響しているのでしょうが、私たちの新しい文化や慣習への「興味や関心」そして「吸収する力」があったからこそではないでしょうか。ハロウィンやバレンタインもそうかもしれません。

「興味や関心」の底力に感心するばかりです。「興味や関心」があれば、「吸収する力」が出てきます。本来、子どもたちが持っている「吸収する力」を引きだす「興味や関心」をくすぐる授業を考えていくのが私たちのテーマの一つです。そんなことを考えながら恵方巻を頬張りました。

副校長　古川　玉緒

＊小学部2年 校外学習（ちきゅうのにわ）＊

２月10日（火）に、スクールバスに乗って、センター北駅のモザイクモールのなかにある「ちきゅうのにわ」に行きました。たくさんの遊具にみんな目をキラキラさせていました★

今回は、青と赤、白のエリアで遊びました。事前にどのエリアで遊ぶのかを映像で学習し、タイマーが鳴ったら次のエリアで遊ぶことを練習していたので、当日はみんな約束を守って楽しく、仲良く遊ぶことができました。

みんなの素敵な笑顔がたくさん見られました♪

小学部２年　大江　未来

たかつ クイズ⑨

来年度、スクールバスの動物仲間が増えることになりました！

くま、パンダ、うさぎ、ねこに加わる仲間はなんでしょう？

1.ペンギン　2.くじら　3.コアラ　4.カンガルー

➡こたえは、中面へ・・・

＊小学部3年 校外学習（かわさき宙と緑の科学館）＊

１月22日(木)にかわさき宙と緑の科学館に行きました。

前日に大寒波襲来の予報でしたが、当日は天気に恵まれ日差しも暖かく駐車場から科学館まで元気いっぱいに歩いて無事に科学館へ到着しました。

科学館には、川崎市の自然や動物についての展示があり、みんな興味津々でした。

プラネタリウム上映では、わくわくした様子で椅子に座り、途中動く星を指さしながら、35分間の宙の旅を楽しみました。

プラネタリウムを見た後は、科学館の中にある会議室でお弁当を食べました。おなかが満たされたら、科学館の外に展示されている客車に乗って、ゆっくり景色を楽しみました。前回の校外学習で乗った、動く電車とは違いゆったりと座ってくつろぎました。帰りもスクールバスが待つ駐車場までしっかりと歩き無事に学校に帰ってきました。

初めてのプラネタリウムでしたが、みんなで約束を守って静かに楽しむことができました。また一歩、成長した３年生でした！

小学部３年　白川　栞里

＊中学部１年 校外学習（南町田グランベリーパーク）＊

２月３日（火）に電車で南町田グランベリーパークに行き、食事と日用品の買い物をしました。

フードコートでは注文したものを席まで運び、友達と一緒においしく食べました。ドラッグストアでは、家庭から頼まれた品物を探して購入しました。

公共交通機関や公共施設内でルールやマナーを守れる「かっこいい大人」を目指して、事前学習を重ねて当日を迎えました。乗車場面では、車内で静かにすること、降りる人を待ってから乗ることを目標にしました。買い物場面では、レジでお金を払って釣銭とレシートを受け取ること、店員さんに「お願いします」「ありがとうございました」と挨拶することをがんばりました。

「かっこいい大人」に一歩近づけました。

中学部１年　石川　恵

＊高等部3年　卒業遠足（東京スカイツリー）＊

１月30日（金）に東京スカイツリーと東京ソラマチに行きました。

行きは溝の口駅で集合し、朝の混雑した電車に乗り目的地を目指しました。１時間弱の道のりでしたが、高校３年生らしくマナーを守って乗車できました。天気に恵まれ、展望デッキからは富士山もくっきりと見え、生徒たちからも歓声が上がっていました。

東京ソラマチではグループごとに散策したり、土俵席のあるお店でお好み焼きを食べたりと、３年間一緒に過ごしてきた46期生カラーがたくさんつまった遠足でした。

卒業前に、また一つ最高の思い出が増えた一日となりました。

高等部３年　飛田　昌平　大塚　泰雅

＊進路＊

立春を過ぎ、暦の上では春が始まりました。今年度も残りわずかとなり、子どもたちは一つ上の学年への進級、そして卒業という大きな節目を迎えようとしています。

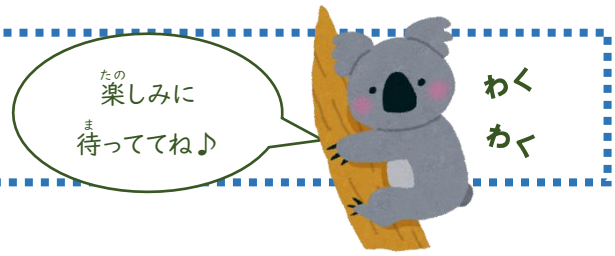
進路担当として日々子どもたちと接していると、「進路」という言葉をどうしても「卒業後の行き先」という狭い意味で捉えてしまいがちです。しかし、本来の進路とは「ひとりひとりが自分らしく、社会の中で生きていく道」そのものです。その道は、高等部から始まるのではなく、小学部・中学部からの日々の積み重ねの上に一本の線として繋がっています。

この１年間を振り返ってみてください。「決まった時間に席に着けるようになった」、「自分から『手伝って』と言えるようになった」、「苦手なことにも、まずは一度挑戦してみた」これらはすべて、将来社会に出た時に必要となる「生活の力」であり「働く力の基礎」です。３月は、この１年で「できるようになったこと」を、ぜひご家庭でもお子さんと一緒に確認してみてください。

進路に関する悩みや不安は、一人で抱え込む必要はありません。学年が進むにつれて変化するお子さんの様子に合わせ、私たちも一緒に考えていきたいと思っています。

「今年度の成長」という素晴らしいお土産を持って、新しい春を迎えられるよう、残り１ヶ月を大切に過ごしていきましょう。

進路支援係　板井　汐織

たかつクイズ
⑨こたえ

正解は　コアラ　です！